

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月6日

事業所名 ふくら勇氣(ふくらトータルケア森山)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○		送迎などで職員が少ない時は、お互いに声を掛け合いながら工夫している	サービスの質を保ちながら、職員同士のコミュニケーション力を向上していく事
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			現在のスペースはわかりやすい構造になっているが、他のスペースを今後利用する際は職員同士で共通認識しながら利用することが課題。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		環境整備に力を入れ、花や野菜を育てる等、お子さん達への療育空間にも力を入れている。	
適切な支援の提供	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○		ミーティングでの情報共有、フィードバックをさらに細かく実施している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		全体勉強会やミーティングでの内容をを生かしながら、日々勤務出来ている。	
保護者への説明等	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑫	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当で話し合い計画している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ホワイトボードに日程、役割を書き出しわかりやすくできている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援内の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	日々の振り返りは十分にできていない。	振り返りを実施できるようにしていくことが課題
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		管理者や看護師などが、相談支援専門員、関係機関と連携をとっている。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		管理者や看護師などが、協力医療機関の担当者と連携をとっている。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか		○		移行支援として保育園等と連携する機会はないが、該当するお子さんがいる場合は実施していきたい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		移行支援として小学校等と連携する機会はないが、該当するお子さんがいる場合は実施していきたい。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関の研修会に参加し勉強になる機会があり、もっと他の専門機関の研修会等があると良い。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉛	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③④	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談だけでなく、送迎等で家族に合う際は子育ての話を聞き、必要な支援を実施している。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れに対しては迅速な対応をしている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的な会報やホームページ、フェイスブック、会員専用ページ等工夫を凝らしお子さんや家族に向け発信している。	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーのある子さんの利用の場合も医師から指示書を出してもらい、職員全体で共有している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集を作成し、ミーティングで共有している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		全体勉強会で職員全員で学ぶ機会をもっている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	-----	---------	------------------------------

+